

第 63 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2020. 7. 9 木村 亜希子

『オゼンピック皮下注』

ノボ ノルディスクファーマ(株) 佐藤さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢先生、内科職員さん、味田村俊次、石田麻莉子、鈴木里菜、吉井智子、清田好美、隅山穂子、鈴木亜湖、小林昌美、木村亜希子

オゼンピック皮下注は、経口血糖効果薬で治療中の 2 型糖尿病患者さんへ、より良い血糖管理を目指した、週 1 回投与型の持続性 GLP-1 受容体作動薬である。

【効能・効果】

2 型糖尿病

本剤の適応は、予め糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行った上で効果が不十分な場合に限り考慮すること。

【用法・用量】

通常、成人には、セマグルチドとして週 1 回 0.5mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 0.25mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 0.5mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 0.5mg を 4 週間以上投与しても効果不十分な場合には、週 1 回 1.0mg まで増量することができる。

【禁忌】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡または前昏睡、1 型糖尿病の患者（インスリン製剤による速やかな治療が必須となるので、本剤を投与すべきでない）
3. 重症感染症、手術等の緊急の場合（インスリン製剤による血糖管理が望まれるので、本剤の投与は適さない）

【副作用】

重大な副作用として低血糖、急性膵炎。その他 5%以上の主な副作用として食欲減退、悪心、下痢、便秘、嘔吐、リパーゼ増加。

【特徴】

- ・2021年5月までは投与日数制限のため、1回14日分(2本)までの処方となる。
- ・維持量の0.5mgは、同じ週1回タイプのトリルシティと比べて薬価300円程度値段が安い。
- ・シングルドーズタイプで注射針取り付け不要のため、投与量の設定ミスがなく、使用操作も簡単である。
- ・使用を忘れたときの対応。

次の投与までの間隔が2日あいていれば気付いたときに使用する。

次の投与まで2日以上の間隔がない場合は1回分使用を飛ばす事とする。

- ・使用法で、薬液の注入に約5～10秒かかるが、途中でペンを皮膚から離すとロックされ残りの薬液は二度と注入できない。

【質疑応答】

Q) デュラグルチドからの切替え時も、用量は一旦導入量である0.25mgに落とす必要があるのか？

A) はい。オゼンピックは血中濃度が高く安定する特徴があることと、0.5mgからスタートの臨床試験をしておらず、安全性を考慮しての回答となります。

Q) 使用忘れにより、次の投与まで2日開ける必要ある場合について、2日開かないとどうなるのか？

A) そのような試験はしていないが、臨床試験中で過量投与の場合を見ると、悪心・嘔吐の副作用が出ている例があるため、使用しないよう説明している。

【考察】

使用法説明時の注意として、注入の途中でペンを皮膚から離すとロックが掛かって二度と注入できない仕組みのため、一旦注入したら5～10秒は保持したままであることを理解しているか確認することが必要である。

シングルドーズのため、患者さんの単位設定ミスは起きないが、増減のタイミングや併用薬については薬局側でしっかり確認を忘れないこと、使用法の確認や、副作用を確認し、効果的に薬を使用できるように監査をすることが大事である。